



学校だより

Kurobane Junior High School

6月号

令和7年5月22日発行
大田原市立黒羽中学校

★★ 令和7年度 体育祭 開催!! ★★

5月18日(日)、令和7年度体育祭を行いました。雨天のため1日延期になりましたが、当日は好天の下で行うことができました。今年度は3年生が3クラスあるので、朱雀・青龍・黄豹の3団に分かれて戦いました。短い練習時間の中で工夫して練習に取り組み、3年生が下級生を上手にまとめたり教えたりしながら当日を迎えました。今年は、「生徒主体の体育祭」を実現するため、練習・準備の段階から生徒たちが考え、自分たちで積極的に動いて体育祭を作り上げました。生徒たちが生き生きと活動する姿をたくさん見ることができ、素晴らしい体育祭となりました。ご来場いただいた保護者の皆様、地域の皆様、大変ありがとうございました。



◆ 6月のおもな行事予定 ◆

- 2日(月) 衣替え
- 4日(水) 歯科検診(2-2、1年、若くり学級)
全校長距離走
- 5日(木) 内科検診(2年、1年、若くり学級)
- 11日(水)、12日(木) 前期テスト
- 17日(火) 那須地区総体(陸上競技)
- 18日(水) 全校長距離走
- 20日(金) 歯科講話
- 25日(水) 総体決起集会
- 26日(木) 巡回伝統芸能公演(落語)
- 27日(金)~29日(日) 那須地区総体
- 7月1日(火) 那須地区総体(水泳)

体育祭を終えて(各団の団長から)

◇朱雀◇

私たち「朱雀」は競技の部で優勝することができました。応援の部では優勝できませんでしたが、本番でとても良い応援を披露することができて嬉しかったです。4月に応援団長を引き受けたときはとても不安でしたが、クラスの仲間に支えてもらいながらしっかりと計画を立て、順調に練習を進めることができました。そして、1、2年生たちの様子も見ながら、リーダーシップを発揮できたと思います。このように、体育祭での様々な体験を通して、大きく成長することができました。

◇青龍◇

団長をやることは私にとっての挑戦でした。最初は不安なことがたくさんありましたが、副団長や団員に限らず、クラスのみんなが良い団にしようと協力してくれました。応援合戦の練習では1・2年生もがんばってついてきてくれたおかげで、体育祭当日までに完成させることができました。本番は少しハプニングもありましたが、最後まで笑顔でやりきることができたと思います。優勝はできませんでしたが、みんなで創り上げることができた最高の体育祭でした。

◇黄豹◇

私は応援団長を経験して、大きく成長することができました。体育祭までの準備期間は不安でいっぱいでしたが、副団長をはじめ団員のサポートのお陰で、準備を進めることができました。

黄豹のみんな。応援合戦の練習を全力でがんばってくれてありがとうございました。仲間と一致団結すると絆が生まれることを知り、物事がうまくいったときの達成感を味わえたこの一週間の出来事は、忘れることができない思い出となりました。黄豹の応援合戦は、最高でした!

学校HPも御覧ください。



1年 体育祭お世話になりました。

文責 笠井 雅史

体育祭をご覧いただきありがとうございました。2クラスを3団に分ける形での実施となり、普段とは異なる集団での活動に難しさもありましたが、団員を中心にきびきびとした行動を心掛け、本番までやり切りました。

小学校と中学校の体育祭(運動会)の違いを「体験」し、そこから得た学びを「経験」として、次のステップに生かしていこうと思います。彼らには、自分たちの学びを体育祭後の生活に生かして初めて、学校行事が成功だったと言えると話しました。今後の生活に期待しています。以下に、ふり返りでの【自分が成長したと思うところ】の一部を記載します。
○がんばって精一杯の声を出したこと。○「恥ずかしさ」を捨てて、先輩のために踊ったこと。○勝ったチームに拍手を送ったこと。○仲間をなくさめることができたこと。○悔しくても泣けなかったこと。○最後まであきらめなかったこと。



《黄豹団》



《青龍団》



《朱雀団》

まだまだ
成長して
いきます！

2年 文責 矢板 克則



体育祭を振り返って私は、団結することの大切さを知りました。自分のチームが頑張っているときにみんなで応援したりフォローしたりすることができました。 神長雅乃



今回の体育祭で初めての団員としてチームをまとめながら、団結力を高めることができました。その結果、練習では負けていたボール運びでは1位をとることができて、うれしかったです。朱雀のみんなで、競技の部で優勝できました。 益子拓真



私は体育祭を振り返って一番よかったことは応援合戦です。理由は1週間しかない練習の中で黄豹が応援の部優勝できたからです。 藤本琉翔

私は体育祭を通じて先輩などと関わったり、自分の団の代表としてみんなをまとめたりすることができました。そしてすべてに全力で取り組みました。来年は団長になって応援合戦の構成などを考えてみたいと思いました。 小森咲来

応援団員として前に立ち、皆をまとめることやより良いパフォーマンスになるように動けたと思います。黄豹のみんなと一致団結して2冠達成に向けてがんばることができました。結果は惜しくも競技の部2位でしたが、これまで以上の最高のパフォーマンスで応援の部で優勝することができたのでよかったです。 増子柚月

体育祭を振り返って、協力する力が高まったと思います。理由は3年生に言われたことを守って、大きな声で応援できたと思ったからです。また、少しだけ1年生に指示できたからです。 石川晴翔



3年 「最初で最後、クラスで団結！R7体育祭！」

文責 新井 昇

「結果がすべてではない、過程が大事」この学年で1年生の時から伝え続けてきた成果が表れた体育祭でした。大変さを楽しめたり、仲間同士認め合えたりする姿がありました。大・感・動！！

